

取組実績については、以下のとおり

i) 住宅所有者に対する直接的な耐震化促進

	R1	R2	R3	R4	R5	R6 (予定)
戸別訪問の実施件数	1009	28	0	0	0	3225
ダイレクトメールの送付件数		464	442	827	850	0

ii) 耐震診断実施者に対する耐震化促進

資料編のとおり

iii) 改修事業者の技術力向上

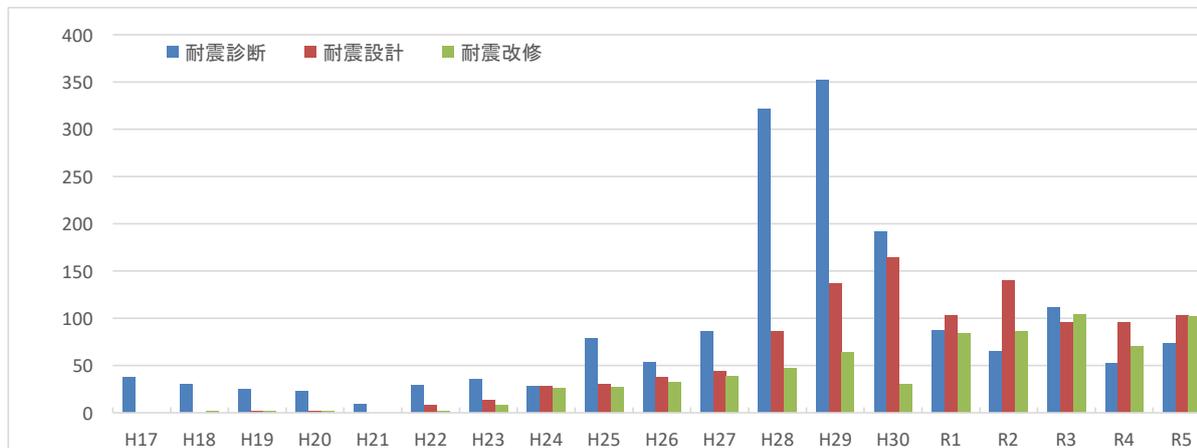
	R1	R2	R3	R4	R5	R6 (予定)
耐震診断士講習会	4	2	2	4	3	3
低コスト工法講習会 (名古屋工業大学高度防災工学センター共催)	2	2 (オンライン)	9月~2月 (オンライン)	—	2(対面)、9月~2 月(オンライン)	2(対面)、9月~2 月(オンライン)
低コスト工法講習会 (県主催)	—	—	—	—	—	—
事業者登録推進講習会	3	0	1	2	1	2
耐震改修技術学校	4回× 1会場	0	0	—	1	2回× 1会場
耐震補強工事实務講習会	—	—	—	—	—	—

iv) 一般への周知普及

	R1	R2	R3	R4	R5	R6 (予定)
広報誌等への掲載	1	3	2	3	5	3
イベントでのブース展示	1	1	1	1	3	3
説明会の実施	0	1	1	1	3	1

○耐震改修の実績

(棟数)	R1	R2	R3	R4	R5	R6 (予定)
耐震診断	87	65	111	52	73	
耐震設計	103	140	96	95	103	
耐震改修	84	86	104	70	101	90



○前年度の取組内容

前年度は住宅耐震ブースの出展を三か所で行い周知に努めた。
住宅所有者が診断を行うきっかけとなるように、制度の周知及び耐震相談会を開催し、相談会案内の為にDMも送った。
市広報誌で制度周知を行った。
早期の耐震化が完了するよう、予算に余裕があれば1年で診断、設計、工事と進めるように早めに案内を行った。

○見えてきた課題

診断、設計を基本無料としているが、設計段階での工事見積が高額のため、改修をあきらめることが多い。
しかし、1月の能登半島地震や農後水道での地震があったことから耐震に対する関心が集まっているため申請は今後さらに多くなることが予想される。知り合いがしていたから工事はここがいいとの連絡があるため今後申請者の希望により施工業者の偏りがでた場合工事のとりかかりが遅れるのではないかなど(施主の希望や設計士と施工業者との関係性もあるため難しいかもしれない)。

○今年度の取組内容

令和6年度より5年間を想定して戸別訪問を行うことでさらなる耐震化への周知を広めるとともに補助金への仕組みを理解していただくことで耐震化率アップを引き続き目指す。
今年度も住宅耐震ブースの出展を行い、引き続き各種補助制度を積極的にPRしていく。
早期の耐震化が完了するよう、1年で診断、設計、工事と進めるように早めに案内を行う。

